

クリーンな風力発電に反対なの？

不適切な建設場所の風力発電には反対です。風力発電は適正な場所で！

風力発電は燃料不要で、CO2を出さないクリーンエネルギーです。温暖化防止に有効といわれ、期待されています。でも、風力発電は「いいことづくめ」でしょうか。大型風力発電は大規模な基礎工事・道路工事を必要とし、山岳地では「新たな環境問題」が心配されます。

●山岳地の大型風力発電 「7つの不安」 (根子岳計画地の場合)

- 1ー土石流災害 工事で土地改変・裸地化された山岳地は豪雨災害のおそれがあります。
(土石流災害発生地です(1981年8月)。崩れやすい溶岩地質、急峻な崖地形。)
- 2ー水源の不安 山岳地は大切な水を育む水源地帯です。
(直ぐ下に水道水源があります。下流麓地域の水源地帯です。)
- 3ー山岳景観 山岳景勝地は人々に安らぎと明日への活力を与えます。
(国立公園で花の百名山・根子岳、日本百名山・四阿山です。)
- 4ー生態系に影響 山岳は希少動植物の生息地で、生物多様性を守るべき地域です。
(国の天然記念物イヌワシの生息地で、タカの渡りルートです。)
- 5ー事業への不安 過酷な山岳気象条件で事故・トラブルが続けば事業低迷・失敗。
短期(17年間)の事業計画で自然遺産を使い捨て。
- 6ー観光客減少 あてのない風車観光より、自然を求めて訪れる確かな客を。
- 7ー情報公開 不十分な情報公開。問題タナ上げ。住民合意の無視。

●環境にやさしい風力発電、クリーンなのになぜ反対なのか？

- 1ー立地場所の選定が問題です。自然エネルギーは適材適所、適地適作で推進を。
- 2ークリーンな手段は他にもある。→「3つの別の選択肢」。
- 3ー風力発電の貢献度はまだ限定的です。将来性は大いに期待できます。

●温暖化防止は待ったなしだ、もう時間がない・・・？

- 1ーその通りです。でも、風力まかせでなく、正面から真剣な取り組みを。家庭も企業も社会も。
- 2ー環境保護の手段が環境破壊をもたらすのでは、本末転倒です。
- 3ー自然環境を犠牲にする前に、できること、するべきことがあります。

●「イヌワシ(自然)」か「生活」か・・・？

- 1ーイヌワシは自然の豊かさの指標です。豊かな自然は豊かな生活の糧。
- 2ー「イヌワシか生活か」でなく、「イヌワシも生活も」の工夫にこそ知恵を。

3-心地よい自然景観は自然の健全性の現れです。

■「3つの別の選択肢」――「別の場所で」 無理な山岳地でなくとも、適地はある。

(代替性の評価) ー 「別の技術で」 太陽光、バイオマス、小水力、省エネ技術、などなど日進月歩。

ー 「別のライフスタイルで」 浪費をさけるライフスタイルと社会のしくみ。

先にやるべきこと・できることが身の回りにいくらでもあるのに、自然環境を犠牲にする手段に安易に飛びつくのは納得できません。

2007年10月7日

根子岳風力発電を考える連絡協議会

日本勤労者山岳連